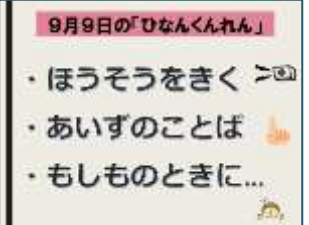




# ときめき

## 不審者から身を守る合言葉は「いかのおすし」です！

9月9日に校内で不審者対応の避難訓練を行いました。子どもたちには事前指導をしていましたが、どの時間帯でどんな想定で実施するのかは伏せてありました。今回は、昼休みに運動場に不審者が入ってきたという想定でした。授業中であれば、多くの場合、学級のみんなが近くにおいて、先生が指示を出して一緒に避難することができますが、今回のように昼休みであれば、そういうわけにはいきません。その時どこに誰といるかは分かりません。もしかすると、一人でいるかもしれません。自分で考えて、自分で身を守る行動をとることが求められます。そこで、今回は次の3点を避難訓練の目的として示しました。



- ① 放送をしっかりと聞く（放送が始まったら、立ち止まっておしゃべりをやめて、放送を聞く習慣を）
- ② 不審者が校内に入ってきたときの、危険を知らせる合図の言葉を確認する
- ③ もしもの時の対応を覚える（登下校時も含めてできるだけ一人にならない、名前入りのものは外から見えないようにする、何かあったらすぐに助けを求めるようにすること など）



その事前の学習が活かせるか？9日の昼休み、不審者役の先生が運動場から校舎に向かって歩いてくるところから訓練が始まっています。「おかしい？」と思った先生が声をかけながら、校舎の中に入るように促しながら歩いてきます。その不審な様子に気付いた先生が、職員室の教頭先生に報告、すぐさま全校放送で、合図の言葉で避難する指示を出しました。運動場にいた子どもは運動場の一角に、教室外にいた子どもは近くの教室に…と避難しました。先生方は、子どもが室内に入ったことを確認して鍵を閉めたり、さすまたを持って不審者の近くに行ったりと、それぞれの役目に取り組みました。ちょっと残念だったのは、不審者役の先生の後ろを興味本位でついてきたり、笑いながら廊下を走って行ったりする様子が見られたことは、次の課題だと言えます。その後、安全が確認できたところで教室に戻り、各教室で振り返りをしました。

報道等をみても、子どもたちが事件に巻き込まれるケースがあります。つい遊びに夢中になってしまい、帰宅が遅くなってしまうことはないでしょうか。これから日が沈むのが早くなり、あっという間に暗くなってしまいます。帰宅時間の6時には、家に帰り着いておくようにしてほしいと思います。そして、自分自身の身を守るためにも、なるべく一人で歩いたり遊んだりしないようにすることが大切です。万が一不審な人に出会った、声をかけられたという場合には、その場から離れることと近くの人に助けを求めるようにします。あつては困りますが、もしも子どもたちが怖いと思う場面に遭遇した時の対応策として、「いかのおすし」という合言葉があります。子どもたちの中にも随分浸透してきているようですが、この「いかのおすし」は、身を守るためのポイントが記されています。その内容は、「知らない人についていかない・声をかけられても車にはのらない・知らない人に連れて行かれそうになったらおおごえを出す・声をかけられたり追いかけられたりしたらすぐにげる・こわいことにあたりみたりしたらすぐに大人にしらせる」といったことです。



また、大江校区でも多くの「こども110番の家」にご協力いただいています。子どもたちの安全を守る手立ての一つです。ご家庭でも子ども自身が安全に過ごせるように、話をする機会をつくっていただけるとありがたいです。もし、不審な人に出会った、見たという場合には、警察への連絡をしてください。すぐにパトロールなど対応していただけます。

